

第25回（通算第143回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 商業簿記

解 答

損		益	
仕給販	入料	売上	55,000,000
販	掛	(受取配当金)	(10,000)
賃	掛	(受取手形貸倒引当金戻入)	(7,000)
支	料	(売掛金貸倒引当金戻入)	(10,000)
(手形売却	息	(売買目的有価証券運用損益)	(100,000)
(保証債務費	用)	(有価証券利息)	(19,500)
(減価償却	費)	(支店)	(420,000)
(設備除却	損)	(繰延未実現振替利益戻入)	(80,000)
(リース契約解約	損)	()	()
(売掛金貸倒引当金繰入)	(60,000)	()	()
(為替差損益)	(10,000)	()	()
(繰延未実現振替利益控除)	(100,000)	()	()
(法人税等)	(642,000)	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()
当期純利益	(1,114,000)	()	()
	55,646,500		55,646,500

繰越試算表

現金	37,000	外貨建買掛金	(3,030,000)
座預金	(379,000)	外貨建長期借入金	(2,020,000)
買目的有価証券	(6,000,000)	繰延未実現振替利益	(100,000)
繰越商	(3,300,000)	(保証証券債務)	(5,500)
支有目的債	(2,040,000)	(売掛金貸倒引当金)	(60,000)
満期保有目的証収	(5,800,000)	(繰延税金負債等)	(80,000)
(未収)	(944,500)	(未払法人税等)	(340,000)
()	(1,200,000)	(未払費用)	(50,000)
()	(15,000)	()	()
()	()	()	()
()	()	資本金	10,000,000
()	()	資本準備金	(1,340,000)
()	()	利益準備金	(1,160,000)
()	()	未達積立金	(196,000)
()	()	未処分利益	(1,214,000)
()	()	(その他有価証券評価差額金)	(120,000)
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()
	(19,715,500)		(19,715,500)

予想採点基準
・・・4点×25＝100点

第25回（通算第143回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 会 計 学

解 答

第1問

番号	正誤欄	理由
1	×	新株発行費用は損益取引から生じるため、資本取引から生じる株式払込剰余金と相殺できない。
2	×	経過勘定項目のうち、一年基準の適用を受けるのは前払費用のみである。
3	○	
4	○	
5	×	原価差額を棚卸資産の科目別に配賦した場合には、棚卸資産の科目に含めて表示する。
6	○	
7	○	
8	○	
9	×	少数株主持分は、負債の部と資本の部の間に表示する。
10	×	為替換算差額は為替換算調整勘定として貸借対照表の資本の部に計上される。

各

第2問

H	I	C	O	Q	T	Q	P
E	V	W	C	Z	B	L	各

第3問

問1	(1) 工事完成基準の内容	工事が完成し、引渡し完了した時点で工事収益を計上する方法
	(2) 工事進行基準の内容	期末に工事進行割合を見積り、工事収益率によって工事収益を計上する方法
問2	(1) 発生主義の適用とみる説	各会計期間に発生した工事原価に対応する収益を計上するという考え
	(2) 実現主義の適用とみる説	受注生産ゆえに、販売の保証があり、請負価格が確定していることに着目する考え

各

第4問

問1 原始値入額の意味 商品仕入時に予定した利益の額 金額 52,200 千円

問2 期末商品帳簿棚卸高 20,000 千円 期末商品実地棚卸高 19,200 千円

問3

損益計算書			(単位:千円)	貸借対照表 (単位:千円)		
売 上 高			{ 269,000 }	資 産 の 部		
売 上 原 価				流 動 資 産		
期 首 商 品 棚 卸 高	15,000			商 品	{ 18,816 }	
当 期 商 品 仕 入 高	220,200					
計	235,200					
商 品 減 耗 損 振 替 高	{ 800 }					
商 品 評 価 損 振 替 高	{ 384 }					
期 末 商 品 棚 卸 高	{ 18,816 }	{ 215,200 }				
売上総利益		{ 53,800 }				
営 業 外 費 用						
商 品 減 耗 損	{ 800 }					
商 品 評 価 損	{ 384 }					

予想採点基準
 ... 4点 × 10 = 40点
 ... 3点 × 4 = 12点
 ... 2点 × 24 = 48点
 100点

第25回（通算第143回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 工業簿記

解 答

問 1 第1工程正常仕損品原価 (23,940) 円

問 2 第1工程正常仕損費 (22,764) 円

第1工程異常減損費 (12,600) 円

問 3 第1工程月末仕掛品原価 (224,700) 円

問 4 第1工程仕掛品勘定から第2工程仕掛品勘定への振替高
(1,548,120) 円

問 5 第2工程月末仕掛品における前工程費分の月末仕掛品原価
(266,000) 円

問 6 第2工程月初仕掛品の直接材料費の内訳金額

直接材料 B	(17,920) 円	}
直接材料 C	(0) 円	

問 7 第2工程月末仕掛品の直接材料費の内訳金額

直接材料 B	(33,600) 円	}
直接材料 C	(35,000) 円	

問 8 完成品単位原価 (668.18) 円

問 9 第1工程異常減損費 (12,600) 円

第1工程完了品総合原価 (1,549,505) 円

予想採点基準

… 10点 × 9 = 90点

… 5点 × 2 = 10点
100点

第25回（通算第143回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 原 価 計 算

解 答

問 1

K製品の必要生産量	1,300	個
X部品の必要生産量	1,300	個
Y部品の必要生産量	2,600	個

問 2

円 / 時間

問 3

X部品	27,900	円 / 個
Y部品	6,800	円 / 個

問 4

☒ Y部品の自製
 ☐ Y部品の購入
 する方が 円有利である。

注：（ ）内は適切と思われる方に○をつけること。

問 5

L製品を製造する方が 円
 {
 ☐ 有利
☒ 不利
 }
 なので、L製品を製造
 {
 ☐ すべきである。
☒ すべきでない。
 }

注：（ ）内は適切と思われる方に○をつけること。

問 6

☒ Y部品の購入とK製品・L製品の製造
 ☐ Y部品の自製とK製品の製造
 の方が 円有利である。

注：（ ）内は適切と思われる方に○をつけること。

問 7

(ア)	埋 没	原価
(イ)	固定製造間接	費

予想採点基準
 …… 10点 × 9 = 90点
 …… 5点 × 2 = 10点
 100点